

事務事業名	花と緑の市支援事業			担当	産業部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		増補版施策名			
施策名	4	観光の振興		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和48 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠							
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費		3. 観光費		
事業概要	花とみどりの市は、市内造園業者の有志が造園業のPRと緑化推進を目的に開催しており、毎年、500本の苗木等の無料配布を実施している。ゴールデンウィークの観光イベントとして定着し、市内外から来客している。平成22年度より補助金を10%カットし36万円とした。令和元年度は第40回の記念大会であり、イベント内容の充実を図るため、補助金額を増加している。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 補助金交付事務及び物品借用申請事務  31年度計画 補助金交付事務及び物品借用申請事務	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア 補助金額	千円	360	360	360	360	600
	イ						
	ウ						
	エ						
オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 花と緑の市実行委員会	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア 花と緑の市会員数	人	16	13	14	15	15
	イ						
	ウ						
	エ						
オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市内外から観光客の誘客を図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア 花と緑の市に訪れた来場者数	人	2,000	2,000	2,000	2000	3000
	イ						
	ウ						
	エ						
オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 訪れてもらう、観光客の誘客を図る ・長計目標値（観光客入込数） H29 294万人 H30 297万人 H31 300万人	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,612	2,912,127	2,990,649	2,957,327	3,000,000
	イ						
	ウ						
	エ						
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	360	360	360	360	
	事業費計(A)	千円	360	360	360	360	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	22	22	22	22
		人件費計(B)	千円	92	91	91	92
トータルコスト(A)+(B)		千円	452	451	451	452	
							692

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市内造園業者のPRや緑化推進を図ることを目的に実行委員会を組織して、花と緑の市を開催しており、昭和48年から支援している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成14年度までは花と緑の市の開催期間を1週間として、各実行委員は庭園の見本等をPRしていた。平成15年度からは開催日を1日に短縮して、苗木の無料配布に変更した。平成18年度までは、4月29日(みどりの日)に、平成19年度からは、5月4日(みどりの日)に久保講堂南側において、平成20年度は、30周年記念事業として「あぐり子娘」多目的広場に会場を移動し、庭園を展示した。平成21年度は、合併記念として開催。平成23年度は、震災の影響により自粛。平成24年度から平成25年度は、木綿会館前の駐車場に会場を移動して開催。平成26年度は、久保講堂南側に会場を移動して開催。平成27年度から公民館ロータリー西砂利駐車場に会場を変更し開催している。平成30年度から久保講堂南側庭園に会場を変更する。(平成31年度は第40回の開催となる)
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	短期間で庭園を撤去してしまうのはもったいない。